

職業選択の幅を広げて`志`を実現する

足立学園中学校・高等学校では、`志`をキーワードに独自の教育プログラムを展開しています。中学3学年を担当する原匠先生は、なぜその職業を目指すのか=`志`を実現するために、中学生の今、様々な職業を知って選択の幅を広げておくことが大切だと話します。3年生で実施している職業レディネス・テスト（VRT）の活用方法と併せて、その取り組みについて伺いました。

足立学園中学校・高等学校
教諭（中学3学年主任）

原 匠 先生



「志共育」の理念

本校では、志を持ち自ら将来を切り拓ける人材（人財）を育成するために4つの「志」プログラムを展開しており、そのうち、中学3年間で「志共育プログラム」を行っています。

志とは、自分本位の個人の幸せを指すものではなく、世のため人のために自分の人生を使い切る覚悟を持った夢のことです。

1年生では、自分のタイプを知ったり、自分の中にある志に気づき、「何のために（目的）」「何になって（手段）」「何に対して（対象）」「何を（動詞）」という志を立てます。

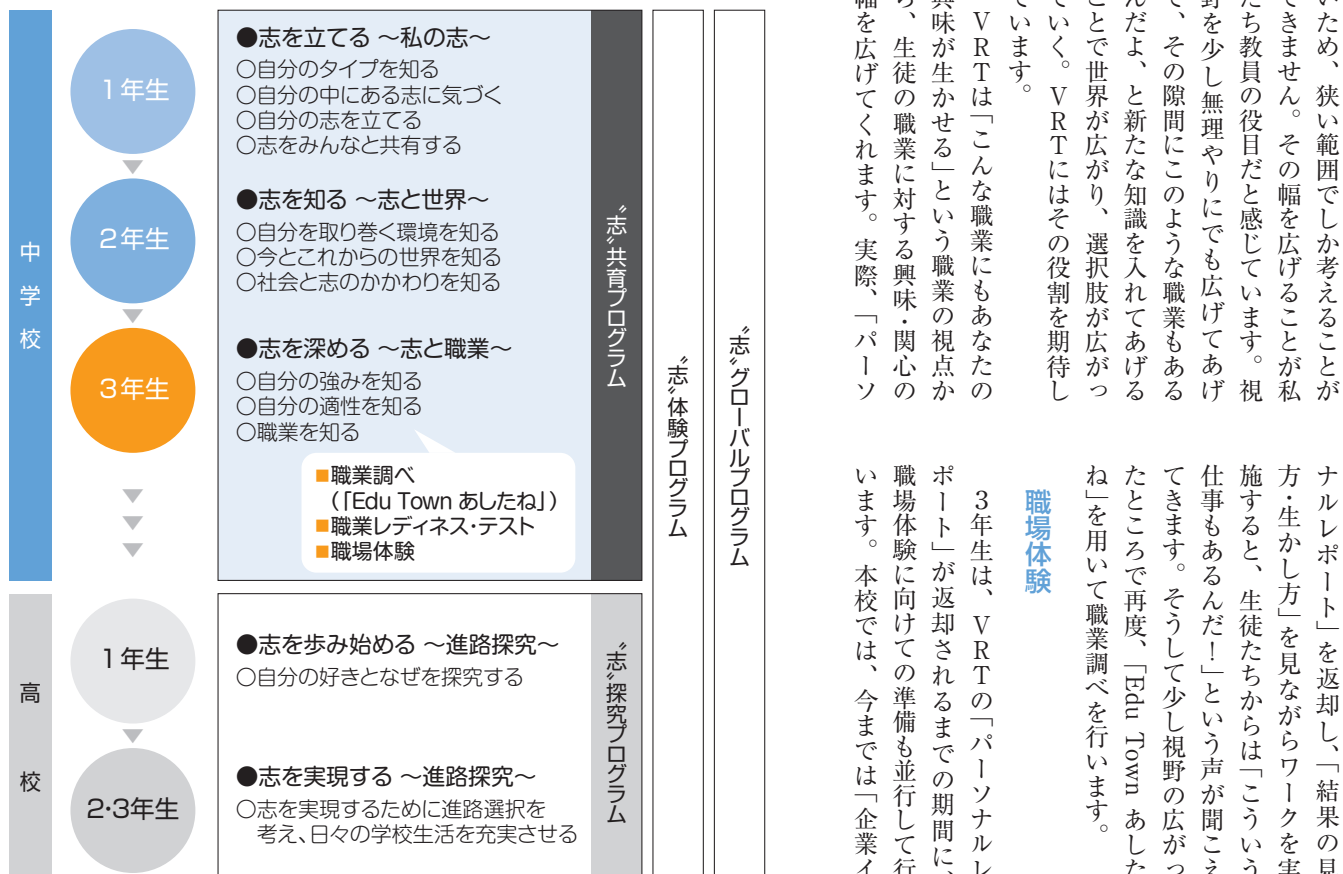
2年生では、障がい者体験やボランティア活動とおして、志と社会との関わりを知ります。

そして3年生では、高校受験がない代わりに、職業や人生についてじっくり考える期間を設けています。それらを見据えた上で、目の前に迫る高校生活においてどんな高校生を目指すのかを考えます。

職業調べとVRT実施で選択の幅を広げる

3年生のプログラムでは、まず、「Edu Town あしたね」（東京書籍）というウェブサイトを利用して職業について調べます。生徒は「将来就きたい職業」を考えたとき、自分の知っている最大限の中から候補を出してくるのですが、職業についてまだ広く知らない

●足立学園中学校・高等学校の`志`プログラム



そのため、狭い範囲でしか考えることができず、その幅を広げることが私たち教員の役目だと感じています。視野を少し無理やりにでも広げてあげて、その隙間にこのような職業もあるんだよ、と新たな知識を入れてあげること世界が広がり、選択肢が広がっていく。VRTにはその役割を期待しています。

VRTは「こんな職業にもあなたの興味が生かせる」という職業の視点から、生徒の職業に対する興味・関心の幅を広げてくれます。実際、「パーソ

ナルレポート」を返却し、「結果の見方・生かし方」を見ながらワークを実施すると、生徒たちからは「こういう仕事もあるんだ！」という声が聞こえてきます。そうして少し視野の広がったところで再度、「Edu Town あしたね」を用いて職業調べを行います。

職場体験

3年生は、VRTの「パーソナルレポート」が返却されるまでの期間に、職場体験に向けての準備も並行して行います。本校では、今までは「企業イ



●足立学園中学校・高等学校

所在地：東京都足立区千住旭町40-24

創立：昭和4（1929）年

生徒数：中学校568名、高等学校（普通科）836名（令和5年度）



▲志を立てて共有する「志」共有プログラム

「インターン体験」として、食品・製薬・通信等の企業のご協力のもと、インターンワークを行っていましたが、今回初めて5月下旬に3日間の職場体験を実施しました。

ゼロからの出発でしたので、受け入れ先を探すのは大変でしたが、保育園をはじめ、消防署、飲料メーカー、銀行、スーパー、水元公園、東京拘置所、美容室、IT企業、デイサービス等で体験することができました。

事前にマナー講座で指導を受けるなど、時間をかけて丁寧に準備を行ったことで、生徒たちは受け入れ先から「来年もぜひどうぞ」と言っていただけほど立派に務めることができました。

実施後は、どの職場を体験した生徒



▲「子どもに世界を変える力はあると思いますか？」との原先生の問いに、「ある」（ピンクの紙）、「ない」（白い紙）と答える生徒たち。

も、「自分にもできる」「他人の役に立てる」という自信や自己肯定感が育ったと感じます。今の生徒は自己肯定感が低い傾向にあるといわれていますが、体験をおして「誰かのためになれる」ということを体感できたようです。志について中学1年生から考え、理論を学んできた集大成としての「志」体験になりました。

その後に行う三者面談では、生徒は保護者と先生に向けて「中学3年間の志のまとめ」というテーマでプレゼンテーションを行います。この職場体験を含めた一連のプログラムを取り上げ、「自分の人生について、じっくり考えることができた」「人生の目標ができた」「〇〇（薬剤師、医者、警察官、

消防士など）の職業に就きたい」などと想いを伝えてくれる生徒もいました。

職業と志の関係

自分の就きたい職業を一途に目指すことはよいと思いますが、その一つの職業だけを目標にすると、叶わなかったときに自分を喪失してしまうこともあります。例えば、医師を目指して医学部を受験したけれどもうまくいかなかったとき、「自分の人生は終わりだ」と思い込んでしまうように…。

医師になるという目標そのものも大事ですが、「世のため人のために、なぜ医師になりたいのか」という部分が志です。「人を助けるために医師になりたい」などのように志がしっかりしていれば、たとえ医師になることが叶わなくても、「人の助けになりたい」という部分で色々な職業選択の幅が出てきます。そして、その時にも多くの職業を知っていることが大切です。

今、職業を知っておくこと

高校生、大学生になると、就きたい職業を絞り込んで、実際に就職活動します。絞り込んだ先で壁にぶつかったときは再度、志に立って職業選択の幅を広げる。その幅を今、中学生のうちに大きく広げておくほうがいいと思います。

そのような意味で、VRTを実施したり、いろいろな機会を使いながら、様々な職業があることを知ることはとても大切だと考えています。